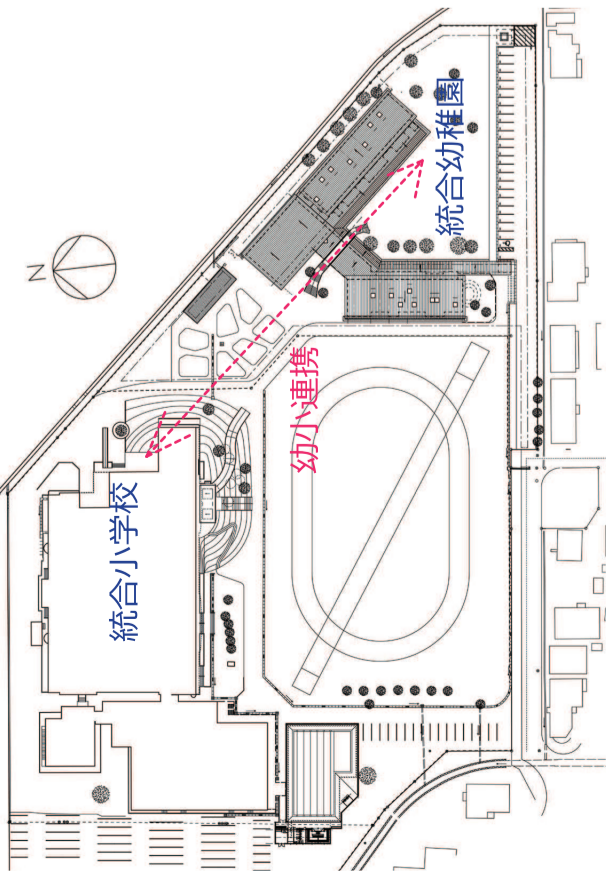


会津坂下町立坂下東幼稚園



遊戯室の窓から小学校、さらには飯豊連峰が見える(写真右側には子供の家が並ぶ)



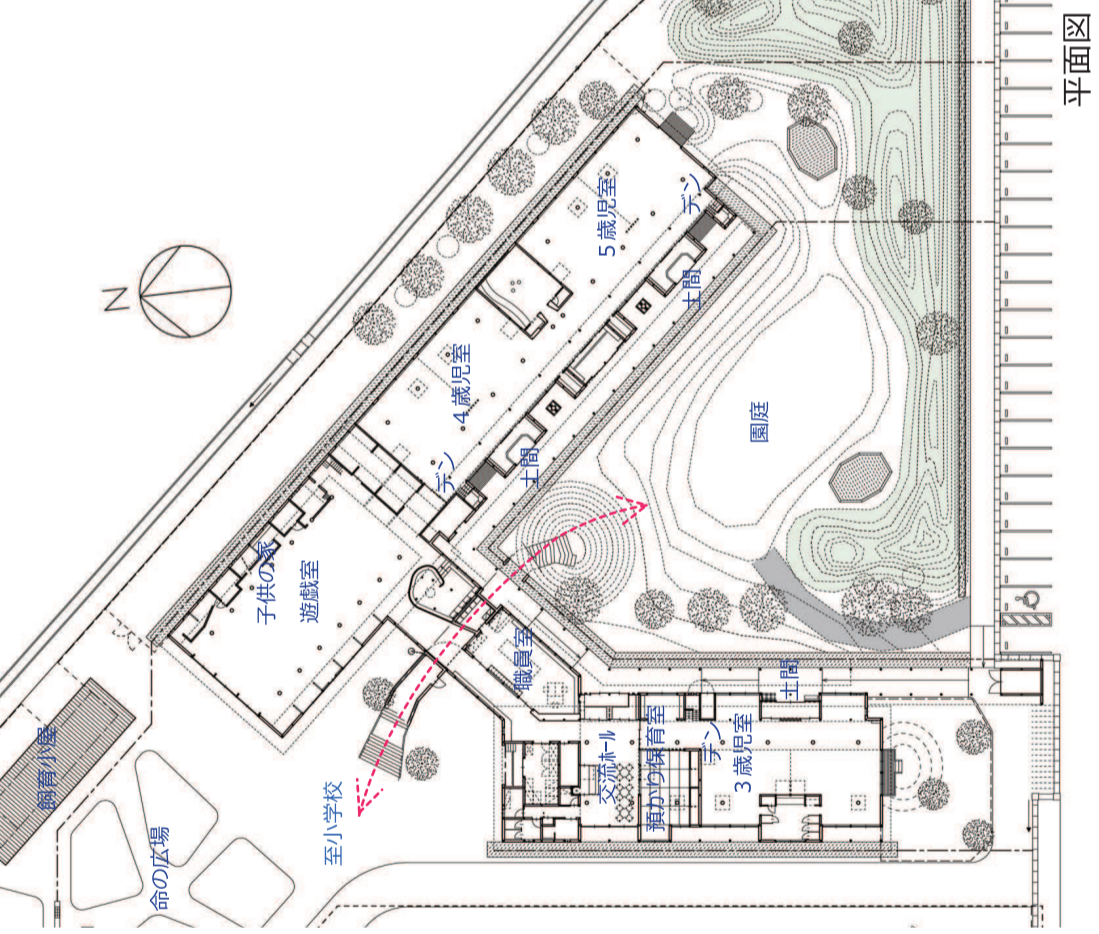
配置図

【設計体制】
本設計は既存中学校を統合小学校へ改修(木質化)し、同敷地内に統合幼稚園を木造で新築するとし、幼小連携プロジェクトで、(公社)日本建築家協会福島地域会の建築家8人でプロジェクトに参加し、設計しました。

【技術支援リーディング】
基本設計時には、学校関係者のリーディングの他に「木を活かす建築推進協議会」の技術支援を受け、建築計画、木構造、地域材活用、音環境のテーマについてリーディングを開催しました。集材材に頼らない一般材を活用した大空間の構造設計を採用する他、地域材活用のリーディングでは、「地場産材で地元の手がつくる地域に根付いた施設づくり」を目指して、木材を前年度に分離発注し、先人たちが植えてきた町有学校林を伐採、丸太の皮をむいてそのまま柱や方杖に使用しました。地場産の木材そのものに触れ感じる事で、子供たちが木を知り、木への興味を持つことを期待しています。

【幼稚園設計主旨】
職員室や遊戯室を中心として3歳児棟と4・5歳児棟で園庭をV字型に挟み、それぞれの視線が通る配置としました。が、丸太の架かった雁木がアーチ空間であり、悪候時の遊び場(冬期は杉板で雪囲い)となります。
幼稚園の園庭と同敷地内にある小学校の共有広場をつなぐ階段がリッジは、防火区画を兼ねた鉄筋コンクリート造で、園舎をまたいで幼稚園と小学校の活発な連携を図ろうとしています。内部は地場産の丸太と一般材(4寸角)を使い、構造的合理性に基づいた存在感ある木造空間の中に、子供の成長に合わせた多様な小さな空間を対比的に共存させています。また竣工時、無塗装だった厚い杉板の床材を子供たちが(保護者が作った)米ぬか袋で磨き続けて2年目になりましたが、いい匂いが出てきました。

- 【建築概要】
 - [建物名称] 会津坂下町立坂下東幼稚園
 - [所在地] 福島県河沼郡会津坂下町字上口705
 - [用途] 幼稚園
 - [規模] 幼稚園
 - [構造] 木造 一部鉄筋コンクリート造
 - [階数] 地上1階
 - [敷地面積] 8,049.23 m²
 - [建築面積] 1,739.49 m²
 - [延床面積] 1,424.68 m²
- 【主な外部仕上】
 - 屋根 カ-カ-リウ鋼板
 - 外壁 スギ 羽目板好貼 t=15ノ上 押縁 保護塗装
- 【主な内部仕上】
 - 床 スギ 縁甲板 t=30 生地仕上
 - 壁 スギ t=12 貼 生地仕上
 - 天井 不織布貼ノ上 スギ W=120 @180



平面図



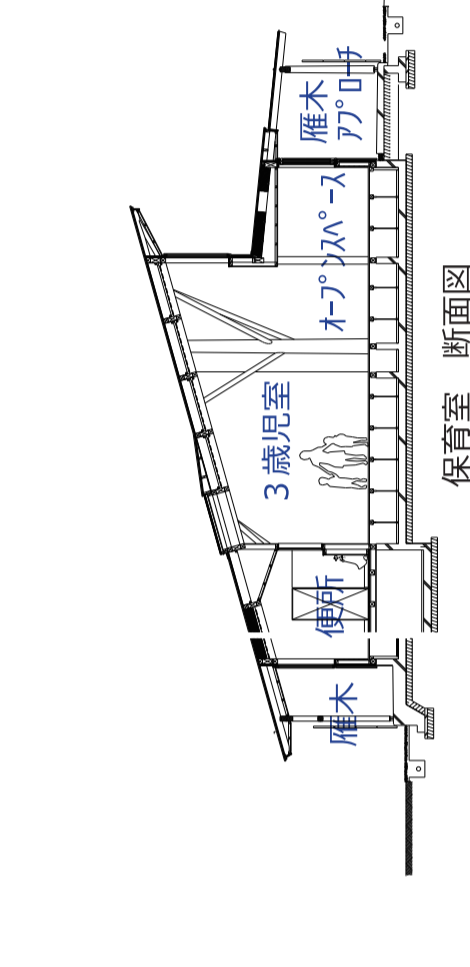
園庭とつながるガラス屋根のアプローチ



丸太の方杖付柱と格子梁を支える保育室



遊戯室天井の見上げ(4寸角材のトラス構造)



保育室 断面図



園庭と命の広場を結ぶコンクリートの階段ブリッジ



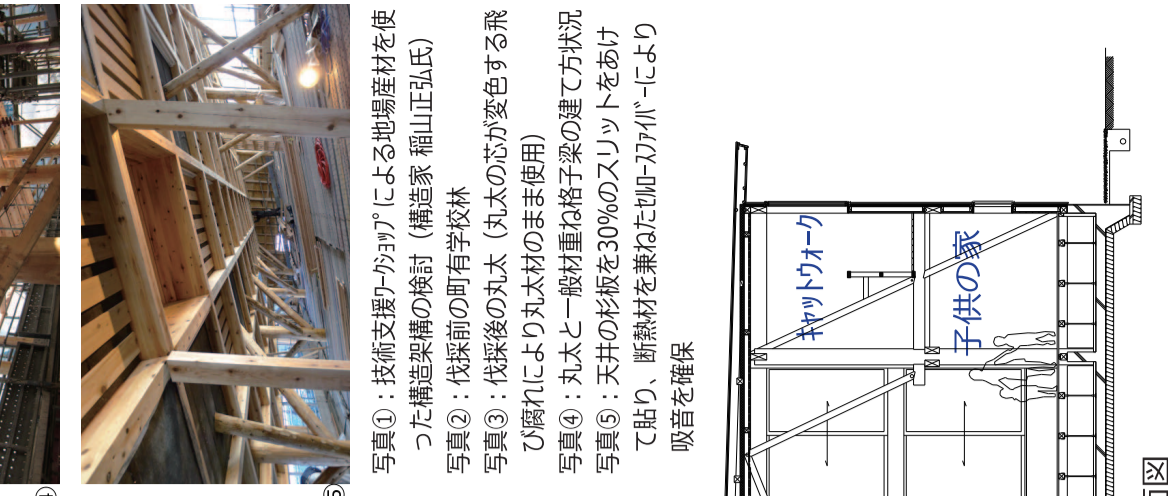
写真①：技術支援リーディングによる地場産材を使った構造架構の検討(構造家 福山正弘氏)

写真②：伐採前の町有学校林

写真③：伐採後の丸太(丸太の芯が変色する飛び隠れにより丸太材のまま使用)

写真④：丸太と一般材を重ねたスリットをあげ

写真⑤：天井の杉板を30%のスリットをあけて、断熱材を兼ねたEPO-R77M-1により吸音を確保



遊戯室 断面図